

ケンサキイカ魚体精密調査

松山 康明 ・ 石田 健次

本調査の対象であるケンサキイカの種類について奥谷(1975)は、ケンサキイカはメヒカリイカの大成長した標本に与えられた名であり、ブドウイカはメヒカリイカの日本海西部～対馬周辺海域に分布する型としている。このことから県下海域にメヒカリイカの2型(亜種?)が存在する可能性が伺われる。しかし今まで両者を区別するためあらゆる角度からの調査、研究がなされてきたが明らかな差異が認められず、その取り扱いに苦慮している現状である。従って本年度も分類に主体をおいた生物調査を実施した。

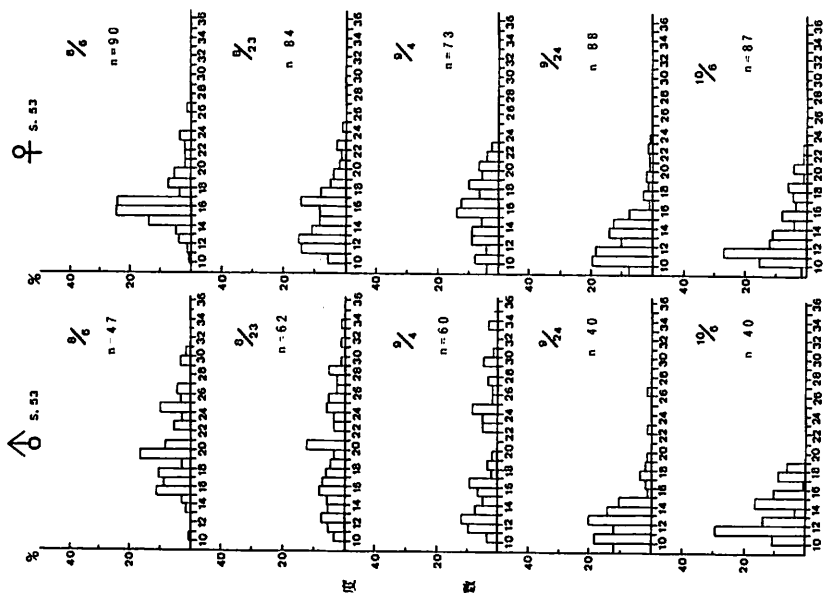
方 法

資料は5～11月の間、月2回(5日, 20日)を目安に、浜田漁協に水揚げされた一本釣のイカを銘柄別に購入し生鮮状態で精密測定したものである。その測定項目は外套背長, 体重, 鰓長, 鰓長の $\frac{1}{4}$ 値, 外套長の $\frac{1}{4}$ 胴囲値, てん卵腺長, 卵巣重量, 輸卵管重量(卵数), 精巣重量, ニーダム氏囊塊重量(精莢数), 胃重量, 肝臓重量, 内臓除去重量, 外套膜内重量, 軟甲各長である。

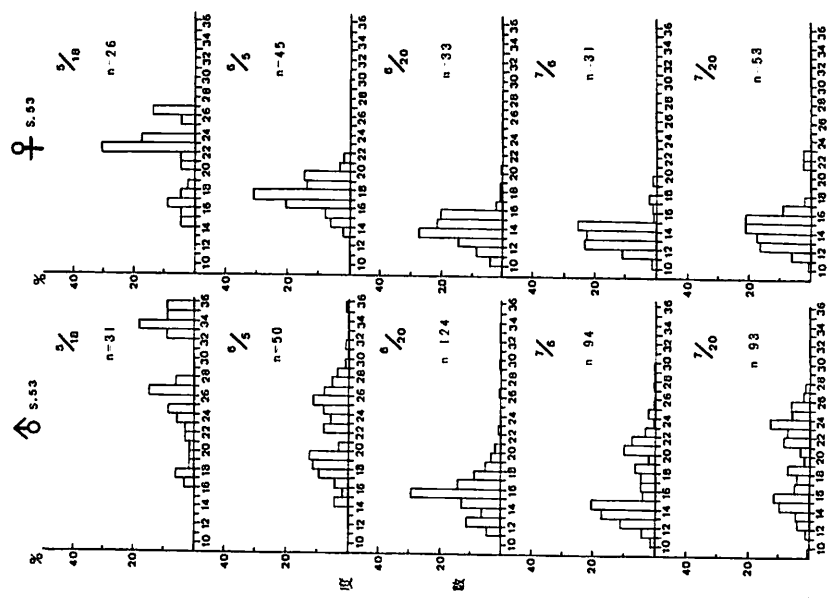
結 果

生物測定調査; 1,518尾(雌651尾, 雄767尾)の多項目測定を実施した。内容についてはケンサキイカ・ブドウイカの区別点明らかになり次第, 詳細に報告する予定である。

なお, 本年度浜田漁協の一本釣により漁獲されたケンサキイカ・ブドウイカの外套背長, 群成熟率, 雌雄比は別添図表のとおりである。



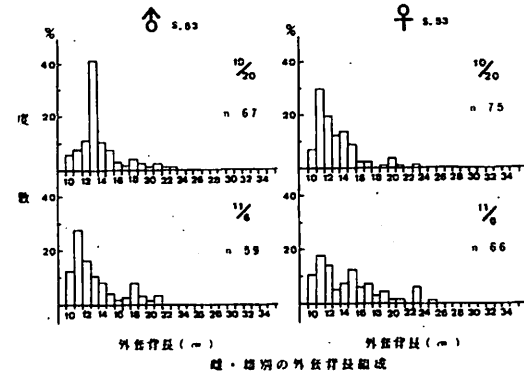
♂・雌別の外本付長組成
外本付長 (cm)



♂・雌別の外本付長組成
外本付長 (cm)

雌・雄別，月別の群成熟率

年度	性別	5月	6	7	8	9	10	11
昭和52年	♀	—	3.2	0.4	2.4	5.4	3.4	0.0
53年		65.0	0.9	1.4	15.4	17.0	4.6	1.5
昭和52年	♂	—	2.8	12.7	20.3	5.1	3.8	0.0
53年		78.1	7.9	8.4	31.5	31.1	21.9	26.1



交接個体の月別出現割合

調査年度	月	5	6	7	8	9	10	11
昭和52年		—	2.1	0.2	1.2	1.0	0.0	0.0
昭和53年		36.0	0.0	0.7	4.2	0.3	1.3	0.0

